



月見山ほのぼの通信

長浜小5年生「アスレチック遊び・木の実クラフト」

高知市の長浜小87名が来所して木の実クラフトとアスレチックで遊んでくれました。長浜は海辺ですから、森の中のアスレチックはものすごく楽しかったようですね。この姿を見てあげてください。(25年10月4日)



フレンド幼稚園卒園記念「森の学校」

いつも利用していただいている南国市のフレンド幼稚園さんが、卒園記念行事の木の実クラフト作りに親子43組、先生4名の計90名が来園してくれました。9時過ぎに、岸本の月見山林道までバスで到着しましたので、迎えに行きました。園児の皆さんは元気に上がって来ますが、大人は少ししんどいようでした。



到着してハウスですぐ木の実クラフトづくりに挑戦です。クラフトが仕上がった園児は机の上に並べて、記念塔広場でゲームです。卒園記念にカッコウ笛を1個ずつあげると大変喜んでくれて、「カッコウ、カッコウ、カッコウ」と鳴く声が響き渡ります。その後、園児と先生、月見山職員が歩いて第2駐車場に移動。園児全員にラワン種を渡して飛び方を教えて上げると大変喜んで飛ばすので、大変な賑わいとなりました。ラワンの種で30分程遊んでハウスへ帰ってきました。午後2時過ぎバスが迎えに来ますので、岸本側へ下りて帰りました。大変楽しい一日でした。(26年3月7日)



東部国公立保育士研修

東部の国公立の保育士の研修を、月見山の現地を使って行いました。シダを使った飛行機、ススキの穂の吹き矢、各種のドングリ、松かさなど、興味はつきないようでした。自然の素材に各種のスプレーで吹き付けて変身させると、面白い素材になることが分かっていただけたようです。(25年7月25日)

夏休み親子木工教室

毎年、夏休みの最初の日曜日に、ごめんなはり線夜須駅高架下の広場で開催している教室です。材料は、幅2cm長さ2mの杉板1枚です。本立て、プランター、貯金箱などを親子が協力して作ります。今年も31組の親子が参加してくれました。



低学年の子どもも女の子も、ノコギリや金づちを使います。自分が作りたい物を親子で協力して作ることが大切なんですね。この親子の姿を見てあげてください。(25年7月28日)

出前教室「日高村日下小-木の実クラフト」

日高村の日下小学校へ出前教室に行きました。木

の実クラフトは7名でしたが、校庭でのラワン種飛ばしは好評で、全員が参加してくれました。校庭で遊んでいた別の組の生徒達も大変喜んでくれました。(25年7月30日)

潮江南小でレインスティック作り

潮江南小学校の39名がレインスティック作りを行いました。39名が一斉に竹筒に爪楊枝を金づちで打ち込みます。ついで、竹筒の爪楊枝をサンドペーパーで擦り、きれいになった竹筒に「キビ、小豆、お米、小石」を入れて、きれいな音が出るように調節し、最後に竹筒にポスターカラーでお絵かきをします。

どうです。自分が頑張って作ったレインスティックを、「どうだ、えいろう！」と笑う顔は素晴らしいですね。私達はこの顔が大好きです。潮江南小の皆さん、ありがとうございます。(25年8月9日)



ネットヨタ南国のいち店 木の実クラフト

毎年呼んでいただいているネットヨタ南国のいち青空店で、子ども達28名を対象に木の実クラフト作りを行いました。久しぶりにお会いした人もいて、ビックリしました。さすがトヨタさんですね。(25年8月18日)

南国市大湊小 レインスティック作り

南国市大湊小の親子がレインスティック作りに来所しました。最初にハウスで生徒8名がレインスティックを作りました。その後、第2駐車場でラワンの種を飛ばして遊びました。ラワンの種が大変珍しかったようで、親も子どもみんな研究して頑張っていました。(25年10月20日)





吉川みどり保育所 秋の月見山来所

吉川みどり保育所の園児21名と保育士4名が秋の月見山に遊びに来てくれました。記念塔広場で食事をとって楽しく遊んで帰りました。(25年10月22日)



芸西村「伝承館まつり」出前教室

芸西村と村の伝承を守っている伝承館に頼まれて、「伝承館まつり」に参加しました。竹笛のカッコウ笛、ベーベー笛を沢山作って鳴らせると、大人も子どももびっくりして、私達のコーナーへ来てくれます。子ども達が集まると、ラワンの種飛ばしを教えました。お祖母さんお祖父さんに孫のために笛をほしいと懇願されました。沢山の大人と生徒達とお話することができました。ススキの穂で作った的当てゲームも喜んでくれました。楽しい一日でした。(25年11月24日)

伊尾木小1～3年生 木の実クラフト作り

安芸市の伊尾木小1～3年生22名と先生4名が、「ごめんなはり線」に乗って来所してくれました。列車は、生徒の社会勉強のためであれば、100円で乗車できるそうです。往復200円で「ごめんなはり線」の各駅の状況、乗降客の人数、車窓の風景、歴史等を学ぶ機会となるそうです。この企画はすばらしいと感じました。

月見山で各種の木の実、貝殻、小石などを使う木の実クラフトも興味津々でした。ボンドを使って面白い作品を作り、大切に持って帰りました。(25年11月8日)



赤岡小1・2年生秋探しに来所

赤岡小1・2年生32名と先生3名の計35名が秋探しに来所しました。月見山の草や木の葉など、お気に入りを探して袋に入れ、ハウスへ帰りました。パウチで自分の作品を作り、焼き付けました。きれいな作品ができて、みんな大喜びです。「持って帰ってお母さんに見せてあげたい!」と、みんな急いで帰って行きました。(25年11月21日)

横浜文化センター(高知市)で木の実クラフト

横浜文化センターから声を掛けていただき、30名で木の実クラフトを作りました。横浜の子ども達は大変元気で発想も豊かです。今年も良い作品ができました。終了後はみんなでラワンの種を飛ばして遊びました。今年も情報交流館ネットワークの川崎さんにお手伝いいただきました。ありがとうございました。(26年2月23日)



『毒ヘビ注意!』の看板、設置しました

「身近にいる毒ヘビに注意!」の看板を、山崎さんが作成してくれました。第1駐車場に掲示しています。

【マムシ】と【ヤマカガシ】に注意して下さい。



ミニ88ヶ所の前垂れ掛け替えと巡路整備

月見山にあるミニ88ヶ所は、大正12年に麓にある宝幢院が石仏に四国霊場の名を刻んで整備したもので、石仏の下には実際の霊場から採ってきた砂を入れた壺が埋められています。参拝者の減少で一時荒廃していましたが、平成16年に岸本婦人会、姫倉会、岸本はたち会、月見山、陸上自衛隊高知駐屯所の皆さんが、のべ120人役程で灌木を伐採し、巡路を整備し案内板を設置して県内のミニ88ヶ所整備の端緒をつくり、その後毎年、前垂れの掛け替え、巡路の整備を行ってきました。



今年は、巡路の整備が必要な箇所が目立つようになり、皆さんに声を掛けさせていただいたところ、自衛隊高知駐屯所さんから若くて元気な隊員さん55名が参加してくれました。また、婦人会、はたち会、姫倉会、



月見山等の参加者18名を合わせた73名の方々の献身的なご努力により宝幢院から月見山を経て宝幢院へ下るルート全線の落ち葉清掃、灌木伐採が全てきれいに終了しました。

本当にご苦労様でした。ご参加いただきました皆様に心からお礼を申し上げます。(26年1月19日)

妙見山ひまわり児童クラブ(須崎市)で木の実クラフト

毎年、呼んでいただいている妙見山のひまわり児童クラブで、木の実クラフトを41名で作りました。子ども達は素材を上手に使って面白い作品を作ります。なんとなく笑える面白い作品ですね。(25年7月26日)



「25年仲秋の名月を愛でる旅」開催

8回目となる名月を愛でる旅は、一ヶ月遅れの名月を愛でることで案内を差し上げたところ、37名の参加となりました。列車はテーブル車で、香我美駅を18時27分発車となりました。今年は老人会等を訪ねておもてなしをされている斉藤朋子さんのグループが「お月見列車童謡歌集」を作って持ってきて戴いたので、斉藤さんのリードによって参加者が楽しく歌ってきました。楽しい列車の旅、ありがとうございました。(25年10月22日)

